

有限会社あぐら亭

◎ 飲食店



神奈川県横浜市



女性客や若いカップル客も訪れるすっぽん料理店

一般的には男性客が大半を占め、滋養強壮に効果のある高級料理というイメージのあるすっぽん。しかし有限会社あぐら亭では、「すっぽんは美容に良い」という事実をもとに、SNSやブログを通じて新たな魅力を発信。また、すっぽんに縁がなかった人にも気軽に足を運んでもらえるよう、リーズナブルな価格のコースメニューを用意。これらの取組みにより、近年では、女性客や若いカップル客が多く訪れるようになり、年々顧客層は広がっている。

1980年に創業した、 地元で人気のすっぽん料理店

有限会社あぐら亭の代表である八木橋さんは1980年に、横浜の繁華街である野毛町にすっぽん料理店を創業した。店名の「あぐら亭」は、隣町で母親が経営していた割烹「阿具良」にちなんでいる。

「美容」の切り口で情報発信し、 新たな顧客層を開拓

あるとき、調理をする自分の手肌が常につやつやしていることから、「すっぽんが美容や美肌に効果があることを伝えられれば、女性の興味をひくのではないか」と八木橋さんは思いつく。おりしも、コラーゲンやアミノ酸が美容に

創業後、お客様は順調に増え続け、地元では有名なすっぽん料理店として繁盛するようになった。一般的にすっぽんは「滋養強壮」のイメージからか、当時、顧客のほとんどは中高年の男性であったという。そのため、八木橋さんは常々、より幅広い層の人たちにすっぽん料理の魅力伝えたいと考えていた。

良いとテレビや雑誌で取り上げられるようになった2000年頃である。八木橋さんは、「美容」の切り口ですっぽん料理をアピールするには今が絶好のタイミングだと考え、自社のホームページを立ち上げ、「コラーゲンやアミノ酸が豊富な料理」としてすっぽん料理を紹介することにした。

また、それまですっぽん料理に縁がなかった

すっぽんの新たな魅力を発信し、新しい顧客層の開拓に成功



のグループ客や若いカップル客などからの予約が入り始めた。新たな顧客層の開拓に成功した瞬間だ。

す」と八木橋さんは言う。

そのほかにも、あぐら亭ではすっぽんを使った化粧品開発に取り組んでいる。毎日の調理を通して手肌にもよいと実感していた八木橋さんは、化粧品メーカーに委託してすっぽんの油を配合した基礎化粧品、ソープ、ヘアケア製品などを開発し、店頭販売および同社ホームページでの通信販売を行っている。

「すっぽん料理を食べて体の中からきれいになり、すっぽんの化粧品を使って外からも美しくなってもらいたいと思っています」と語る八木橋さん。化粧品を買ったお客様は、効能の高さからリピーターになることが多く、それと同時に同店のリピーターにもなってくれるという。

ています」と語る八木橋さん。

現在、一緒に厨房に立つ長男には日々技術を伝承しているが、ただ店の味を受け継ぐのではなく、自分独自のアイデアを盛り込みつつ、すっぽんのおいしさ、料理の味を追求してもらいたいと期待している。それこそがすっぽんの魅力、あぐら亭の魅力を次代につなぐことになると八木橋さんは考えている。

女性に紹介するために、価格設定も重要だと考えた八木橋さんは、一般的にはお酒代は別で10,000円以上かかるといわれるコースメニューを、飲み放題付きで8,000円（税込）という低価格に抑えた。「すっぽんが初めての人でも、試しに食べてみようと思ってもらえるリーズナブルな価格にしたかったんです」と八木橋さんは当時を振り返る。

新しい切り口での情報発信や手頃な価格設定が功を奏し、すっぽんを食べたことのない女性

SNSを活用した口コミ効果で女性客がさらに増加

同店を利用する女性客のほとんどは、実物のすっぽんを初めて見て大喜びして写真を撮影し、それをFacebookやLINEなどのSNSで公開することが多く、この反響は大きい。あぐら亭でもブログのほか、FacebookとLINEのアカウントを作成しているが、こまめな情報発信に取り組んだ結果、女性客の予約はさらに増加し、現在は、女性5～6名のグループ客の予約が週に2～3件は入るといふ。

「SNSの投稿写真を見ると、自分もすっぽんを食べてみたいと思うようです。女性客のSNSの口コミは、予想以上の宣伝効果となっていま

進化するあぐら亭の味を次代につなぐ

「美容」の切り口ですっぽんの魅力をアピールしてきた同店であるが、料理のおいしさを追求するため、ウナギやフグなどの創作料理にも力を入れてきた。「常においしいものを追い求めていく姿勢がないと、お客様に飽きられてしまうのではないかと危機感もちながら努力し

Profile

有限会社あぐら亭

代表 八木橋 国蔵（やぎはし くにぞう）

所在地 神奈川県横浜市中区野毛町1-12
創業 1980年
従業員数 3人（うちパート・アルバイト3人）



代表 八木橋 国蔵さん